

Road to Championship!

第51回 日本少年野球選手権大会支部予選

第20回

エスエスケイ旗争奪大会



SSK



日本少年野球連盟

期 間

令和2年6月27日(土) 7月4日(土)・5日(日)
予備日7月11日(土)

会 場

県営一宮運動公園／守山吉根(名古屋富士ボーイズ)グラウンド
／愛知津島ボーイズ専用グラウンド／森林公園第一、第二野球場

主 催
主 管
共 催
後 援

(公財)日本少年野球連盟
(公財)日本少年野球連盟 愛知県西支部
株式会社エスエスケイ
愛知県 愛知銀行 BSO株式会社

新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う大会運営ガイドラインについて

今大会は新型コロナウイルス感染拡大防止策として、5月20日付け連盟通達に従い大会を運営してまいります。

つきましては、関係者の方々は、以下の事項を遵守いただきますよう、よろしくお願いいたします。

各種大会開催(練習試合)運営に関するガイドライン

(新型コロナウイルス感染拡大防止対策)

連盟主催大会、地区大会及び練習試合を行うにあたり以下の事項、対策を講じることを運営の基本とし、連盟通達及び各地域の状況、各会場、球場の対策方針に従い行うこととする。

尚、大会運営役員、審判、参加チームスタッフ、選手、保護者の全ての者に於いて当日の検温(37.5度以下)並び体調に異常が無いか確認をし各自出来る限り2m以上の距離を取りマスクを着用し、密集しないようにする。

1. 大会開会式、閉会式を禁止とする。表彰式は最低限の人数、時間で簡素に行う。

2. (1)大会運営方法

- ・運営(球場)責任者、及び運営役員3名
放送12名 記録1名 グランド整備等運営補助者5名程度
室内本部は必要最低限の者とし、屋外(スタンド)とする。
- ・試合間隔は試合時間含め3時間を取り密にならないよう運営する。
- ・試合ベンチはグラウンド内にもスペースを広げ、防球ネット等で安全対策を行い密度が高くないように設営する。
- ・チーム到着時、帰途時の挨拶は「無し」とし、メンバー表等の提出のみとする。
- ・試合前審査は審査証確認及び道具審査のみとし、代表のみが立ち会う。
また試合前のメンバー表交換の集合は球場責任者、審判、監督、主将で行う。
- ・接待は「無し」とし 飲料(個別ペットボトル、弁当等は1ヶ所に準備し各自で取りに行くこととする。
- ・本部席、ベンチ、トイレに消毒液、または手洗い用ハンドソープを設置し、試合終了後、ベンチを消毒する。
- ・試合会場入りは1時間前とし、試合終了後は速やかに会場より退出する。
- * 大会主催者は検温計、ハンドソープ、消毒液、ダスタークロス等の準備をする。

(2)試合に関して

- ・打席、守備につくとき以外はベンチ内に於いてはマスク着用とする。
- ・指示、掛け声は飛沫が飛ばないように大声を出さず行う、またメガホンは禁止とする。
- ・試合開始、終了の挨拶は声を出さず礼のみで行う。
- ・捕手は防具を自ら着用し補助者を使わない。
- ・審判はマスク着用し 判定コールは大声を出さずジェスチャーを大きく行ってジャッジングをする。
- * マスクの着用は熱中症等のリスクが高くなる為 時間を取るなど配慮が必要です。

(3)参加チームについて

- ・会場入りするチーム構成はベンチ入りの代表、監督、コーチ、マネージャー、選手20(25)名以内及び保護者の応援はマスク着用し観客席にて2m以上の間隔を取り、声を出さずに見学のみとする。
- ・チームの飲料等は個人水筒、専用ペットボトルで行いチームのジャグ等禁止とする。またチーム役員、監督等の接待も禁止とする。
- ・昼食を取る場合 対面にならないよう2m以上の間隔を取り会話を控え最低限の時間で済ませる。また他チームとの必要外の接触は避ける。
- ・大会会場へは1時間前以上早く入らない。また試合終了後は速やかに帰途に着くこと。
- ・選手移動については全ての車両に於いてこまめな換気を行い密閉、密集、密接にならないよう注意する。
- ・宿泊に於いては一人一部屋、室内でのミーティングをしない。食事の時は対面。
密集にならないよう会話は控え速やかに食事をする。
- * 大会(試合)に参加するにあたり、チームの基本的な対策及びハンドソープ、消毒液など備品は各チームで準備し、選手、スタッフ、保護者の管理はチームで責任をもって行うこととする。

以上が大会のガイドラインであります。感染のリスクがゼロではありません。

各チーム参加選手、保護者にはよく説明を行い同意、承諾の中で参加、活動をお願いいたします。またチームからの強制参加及び活動は禁止致します。

尚、大会開催中に於いても感染状況が悪化もしくは行政の指導があった場合は大会及び試合を打ち切ることがあります。

以上

第20回エスエスケイ旗争奪大会役員名簿

《大会会長》		《大会顧問》	
愛知県西支部支部長	渡会 武則	日本少年野球連盟会長	中谷 泰典
《大会副会長》		日本少年野球連盟副会長	工藤 眞一
(株)エスエスケイ 名古屋支店支店長	伊藤 太志	日本少年野球連盟専務理事	堀内 健
(株)エスエスケイ 名古屋支店 ベースボールエ リアスタッフ次長	森脇 俊将	《大会参与》	
		愛知県中央支部支部長	田畑 良一
《大会運営委員長》		《大会総務部長》	
西支部企画運営部長	服部 誠	愛知県西支部総務部長	丹羽 正治
《大会運営副委員長》		《大会事務局長》	
西支部行事委員長	伊佐治 広教	西支部事務局長	荒川 達哉
西支部企画運営副部長	中村 直人	《大会副事務局長》	
西支部行事副委員長	澤中 涉	西支部副事務局長	澤中 涉
		《大会広報委員長》	
《大会運営委員》		西支部広報委員長	星野 忠啓
愛知津島ボーイズ代表	山岸 昌弘	《大会会計部長》	
愛知尾州ボーイズ代表	内藤 邦将	西支部会計部長	牧野 義人
春日井ボーイズ代表	窪園 三郎	《大会会計副部長》	
名古屋富士ボーイズ代表	玉置 正樹	西支部会計副部長	林 透
名古屋名東ボーイズ代表	梅村 仁司	《大会会計監査》	
東尾張ボーイズ代表	杉原 基秀	西支部会計監査	大迫 英紀
尾張ボーイズ代表	高木 哲也	《大会審査指導部長》	
愛知瀬戸ボーイズ代表	大野 工太	西支部審査指導部長	柴田 昭二
愛知長久手ボーイズ代表	長野 成人	《大会審査指導副部長》	
春日井ボーイズ(小)代表	中島 一迪	西支部審査指導副部長	林 日出夫
愛知一宮ボーイズ代表	花岡 哲也	《大会審判長》	
中京ボーイズ代表	三河 一輝	西支部審判長	山田 和雄
東海ボーイズ代表	加藤 剛司	《大会副審判長》	
		西支部支部副審判長	下林 和幸
			林 欣吾
			木崎 勝広
		《大会審判員》	支部審判員諸氏

《大会規定》

- 1・1チームの登録選手は中学生の部は11名以上25名以内（ベンチ入りは20名以内）とする。また、小学生の部は11名以上20名以内とする。
- 2・出場選手はその大会の登録締め切り日現在、連盟へ登録済みの者に限る。
- 3・審査証は当年度発行のものとする。
- 4・オーダー表記入選手20名以内およびチーム責任者、登録された監督、コーチおよびマネージャーのみがベンチに入ることができる。但し、各種登録証(チーム責任者、監督、コーチ)および審査証(選手)を携帯していない場合は、いかなる理由でもベンチには入れないが、チーム責任者、監督、コーチは、試合開始までに間にあった場合は、審査の上でベンチ入りできる。また、選手は試合終了までに間にあった場合は、審査の上、その時点でベンチ入りできる。なお、チーム責任者は必ずベンチに入らなければならない。チーム責任者不在の場合は試合できない。
- 5・組み合わせの若番号が1塁側のベンチ、後番号が3塁側のベンチに入る。チーム責任者、監督、コーチは登録証を携帯すること。
- 6・監督(背番号60)、コーチ(背番号50)は選手と同じユニフォームを着用すること。
- 7・試合開始時刻60分前に試合場に到着し、直ちにオーダー表を5部、投球回数記録副表3部及び大会初戦の時は、直前大会参加報告書を大会本部に提出の上、所定の審査を受けなければならない。
- 8・オーダー表交換時に両キャプテンにより、先行、後攻をジャンケンで決める。
- 9・試合開始予定時刻までにチームがグラウンドに現れないときは、球場責任者と責任審判員が協議して没収試合を宣言することができる。
- 10・試合方法など
 - ・中学生の部
 - (1)各試合は7回戦で行い、4回終了をもって正式試合とする。試合成立後は試合開始から2時間(決勝戦は2時間20分)を超えた場合、新しいイニングには入らない(後攻チームの得点が先行チームの得点より多い場合は後攻チームが攻撃中でも規定時間になれば、その時点で試合を終了する)。また降雨や視界不良などにより試合続行が不可能となった場合、野球規則7.01(4)により勝敗を決する。同点の場合は最終回時点で出場していたメンバー全員の抽選とする。試合成立前に、上記の理由により試合続行が不可能になった場合は、サスペンデットゲームとする。
 - (2)4回終了時(後攻のチームの得点が先攻チームの得点より多い場合は、4回終了時)10点差、5回以降7点差の場合、コールドゲームとする。
 - (3)7回終了後、同点の場合は延長戦に入るが、延長8回(決勝戦は10回)あるいは試合開始から2時間(決勝戦は2時間20分)を超えては(どちらか早い方)新しいイニングに入らず、タイブレーク方式を実施する。(競技に関する特別規則「タイブレーク実施細則」参照)
 - ・小学生の部
 - (1)各試合は6回戦で行い、4回終了をもって正式試合とする。試合成立後は試合開始から1時間40分(決勝戦は2時間)を超えた場合、新しいイニングに入らない(後攻チームの得点が先行チームの得点より多い場合は後攻チームが攻撃中でも規定時間になれば、その時点で試合を終了する)。また降雨や視界不良などにより試合続行が不可能となった場合、野球規則7.01(4)により勝敗を決する。同点の場合は最終回時点で出場していたメンバー全員の抽選とする。試合成立前に、上記の理由により試合続行が不可能になった場合は、サスペンデットゲームとする。
 - (2)4回以降7点差の場合、コールドゲームとする。
 - (3)6回終了後、同点の場合は延長戦に入るが、延長7回(決勝戦は9回)あるいは試合開始から1時間40分(決勝戦は2時間)を超えては(どちらか早い方)新しいイニングに入らず、タイブレーク方式を実施する。(競技に関する特別規則「タイブレーク実施細則」参照)
- 11・(1)小学生の部投手は、1日6イニング以内、連続する2日間で8イニング以内とする。
中学生の部投手は、1日7イニング以内、連続する2日間で10イニング以内とする。
- (2)ダブルヘッターでの連投を認めるが、投球回数を小学生の部は6イニング以内とする。中学生の部はダブルヘッターに登板した投手、連続する2日間で合計5イニングを超えた投手(5イニングは可)及び3日間連続で登板した投手は、翌日に投手または捕手として試合に出場することはできない。
- (3)例えば、1試合目で5回投げた場合には、次の試合で小学生の部は1回、中学生の部は2回投げる事ができる。ただし端数回数(0/3回・1/3回・2/3回)は切り上げて1回とする。端数回数の0/3回は新しいイニングに入って一死もとらずに降板した場合を示す。なお、小学生の部は変化球を禁止する。
- (4)日程の変更(地区大会を含む)等で前大会と連続試合になる場合があるので、すべてのチームは「直前

大会参加状況報告書」を次大会の最初の試合日に、次大会主催者宛 提出しなければならない。

- 12・(1) 監督またはコーチの指示、伝達は1試合で攻撃2回と守備2回の計4回とする。延長またはタイブレークに入った場合は、それぞれで1回の指示、伝達を認める。
(選手の怪我や交代などの指示、伝達は回数に入らない。)
- (2) 守備側の投手に対する指示、伝達が3回目となれば、自動的に投手は交代となり、その投手は他の守備位置についてもよいが、再び投手として登板することはできない。
- (3) 内野手が2人以上投手のところに行った時も1回に数える。
- (4) 指示、伝達は審判がタイムを宣言してから「30秒以内」とする。
- 13・1 イニングで同一の投手に対して指示、伝達が2回目となれば、自動的に投手の交代となる。
その投手は他の守備位置に着くことができるが、同一イニングでは投手として登板することはできない。
ただし、新しいイニングに入れば、再び投手として登板することができる。
- 14・審判員の判定に対する抗議は認めない。但し、ルールの適用についての確認は認める。
- 15・監督またはコーチが投手に指示などをするとき、マウンドのところで行うこと。(ベンチからは駆け足で)
- 16・2 塁走者やベースコーチなどが捕手のサインを盗んで、打者にコースや球種を伝える行為を禁止する。
- 17・ボール回しをする時は一回りとし、最終野手は、その定位置から返球する。また打者が打撃を継続中、塁上走者がアウトになった場合のボール回しは禁止する。
- 18・投手は走者をアウトにする意志がないのに、無用のけん制球を繰り返すとか、または送球するまねを何度も繰り返す行為は、試合のスピーディーな進行の妨げになるため禁止する。
- 19・小学生の部は、攻撃側チームの監督、コーチに限りコーチスボックス内でベースコーチを務めてもよい。この場合必ず両耳付きヘルメットを着用すること。
- 20・各チームは同色のヘルメット7個以上、捕手の規定防具(マスク、捕手用ヘルメット、プロテクター、レガース、スロートガード、ファールカップ)2組を備えること。一体型捕手マスクの場合はヘルメット、スロートガードを除く。
- 21・ユニフォーム、バット、スパイク、グラブ等は連盟指定業者のものに限る。
- 22・捕手は必ずヘルメットならびに規定防具を試合、練習を問わず着用すること。
- 23・グラウンドの都合で大会トーナメント規定が別に制定された場合は、それに従うこと。
- 24・ベンチ内での携帯電話の使用を禁止する。
- 25・光化学スモッグ発生の場合は、試合及び選手に対する措置は別に定め、運営委員の指示に従う。
- 26・試合前のシートノックは原則として5分間行うが、当該球場のグラウンド状況や試合終了時間を勘案してシートノックを行うか否かは球場責任者が決定するものとする。
- 27・守備側チームの監督が故意四球とする意思を球審に示して、打者が一塁を与えられたときには、故意四球が記録される。

参考

野球規則 7.02(4)

7.02(a)によりサスペンデッドゲームにならない限り、コールドゲームは、球審が打ち切りを命じた時に終了し、その勝敗はその際の両チームの総得点により決する。

【注】我が国では、正式試合となった後のある回の途中で球審がコールドゲームを宣したとき、次に該当する場合は、サスペンデッドゲームとしないで、両チームが完了した最終均等回の総得点でその試合の勝敗を決することとする。

- (1) ビジティングチームがその回の表で得点してホームチームの得点と等しくなったが、表の攻撃が終わらないうち、または裏の攻撃が始まってもホームチームが得点しないうちにコールドゲームが宣せられた場合。
- (2) ビジティングチームがその回の表でリードを奪う得点を記録したが、表の攻撃が終わらないうち又は表の攻撃が始まらないうち、あるいは裏の攻撃が始まってもホームチームが同点かたはリードを奪い返す得点を記録しないうちにコールドゲームが宣せられた場合。

《タイブレーク実施細則》

(1) 特別規則

- (イ) 中学生の部は延長8回あるいは試合開始から2時間を超えて(いずれか早い方)決勝戦は10回あるいは2時間20分を超えて(いずれか早い方)、小学生の部は延長7回あるいは試合開始から1時間40分を超えて(いずれか早い方)決勝戦は9回あるいは2時間00分を超えて(いずれか早い方)両チームの得点が等しい時以降の回の攻撃の回の攻撃は、一死走者満塁の状態から行うものとする。
- (ロ) 打者は、前回正規に打撃を完了した打者の次の打者の者とする。

(ハ) この場合の走者は、前項による打者の前の打順の者が一塁走者、一塁走者の前の打者が二塁走者、そして二塁走者の前の打者の者が三塁走者となる。

(ニ) この場合の代打および走者は認められる。

(2) チームおよび個人記録

チームおよび個人記録は公式記録とするが、以下に掲げる事項に留意すること。

(イ) 投手記録

- ・ 規定により出塁した 3 走者は、投手の自責点とはしない。
- ・ 完全試合は認めない。
- ・ 無安打、無得点試合は認める。

(ロ) 打撃成績

- ・ 規定により出塁した 3 走者の出塁記録はないものとする。ただし、盗塁、盗塁刺、得点、残塁などは記録する。
- ・ 規定により出塁した 3 走者を絡めた打点、併殺打などはすべて記録する。

「中学生投手の投球制限統一ガイドライン」適用例

	第一日目	第二日目	第三日目	第四日目	第五日目	第六日目	備考
投手A	7	3	休 休	4	6	予備日	二日目は上限3イニングまで、三日目は投手・捕手として出場できない。五日目の上限は6イニングまで投球できる。
投手B	2	3	1 休	休	7	予備日	3日間連続で投球した為、三日目第2試合目と四日目は投手、捕手として出場できない。
投手C	4	2	休 休	3	7	予備日	三日目は一日目、二日目で合計5イニングを超えている為、投手・捕手として出場できない。四日目、五日目は2日間で10イニングまで投球できる。
投手D	7	0	3 4	休	7	予備日	二日目登板なし、三日目のダブルヘッダーで両試合に登板した為、四日目は投手・手として出場できない。
投手E	2	3	0 7	休	7	予備日	三日目は二日目との合計が10イニングまで投球可能、四日目は二日目と三日目の合計投球数が5イニングを超えている為、投手・捕手として出場できない。
投手F	0	3	2 5	休	7	予備日	三日目は二日目との合計が10イニングまで投球可能、四日目は二日目と三日目の合計投球数が10イニングを超えている為、投手・捕手として出場できない。
投手G	0	2	3 0	7	休	予備日	二日目から3日間連続して登板している為、5日目は投手、捕手として出場できない。
投手H	7	雨天中止	7	3 休	休	7	四日目第2試合と五日目は三日目と四日目の連続する2日間で10イニング投球している為、投手・捕手として出場できない。
投手I	2	3	雨天中止	2 0	3	7	六日目は五日目との合計が10イニングまで投球することができる。

※数字は登板イニング数。「休」は投手、捕手として登板できない日。「0」は登板しなかった試合。

※指導者は、公式戦だけでなく、練習試合も対象となっていることを認識する。

「小学生投手の投球制限」適用例

※小学生は、1日6イニング、2日連続で8イニング以内とする

	第一日目	第二日目	第三日目	第四日目	第五日目	第六日目	備考
投手A	6	2	一	2	6	予備日	1日目6イニング投球している為2日目は2イニングまで投球することができる。
投手B	4	4	一	4	4	予備日	2日連続で8イニング以内である為、二日目と五日目は4イニングまで投球することができる。
投手C	5	3	一	5	3	予備日	2日連続で8イニング以内である為、二日目と五日目は3イニングまで投球することができる。
投手D	6	雨天中止	6	一	4	4	2日連続で8イニング以内である為、五日目は4イニングまで投球することができる。
投手E	雨天中止	6	2	一	6	2	2日連続で8イニング以内である為、三日目と六日目は5イニングまで投球することができる。

第 51 回 選手権大会 支部 予選 & 第 20 回 SSK 旗争奪大会

1 日 目 2020年6月27日(土)

A 球場 県営一宮運動公園
 B 球場 吉根(名古屋富士)グラウンド
 C 球場 愛知津島ボーイズ専用グラウンド

愛知木曾川ボーイズ
 名古屋富士ボーイズ
 愛知津島ボーイズ

開会式はなし

2 日 目 2020年7月4日(土)

D 球場 森林公園第1野球場
 E 球場 森林公園第2野球場

愛知木曾川ボーイズ
 愛知尾州ボーイズ

3 日 目 2020年7月5日(日)

D 球場 森林公園第1野球場
 E 球場 森林公園第2野球場

愛知木曾川ボーイズ

4 日 目 2020年7月11日(土)

F 球場 津島市営球場

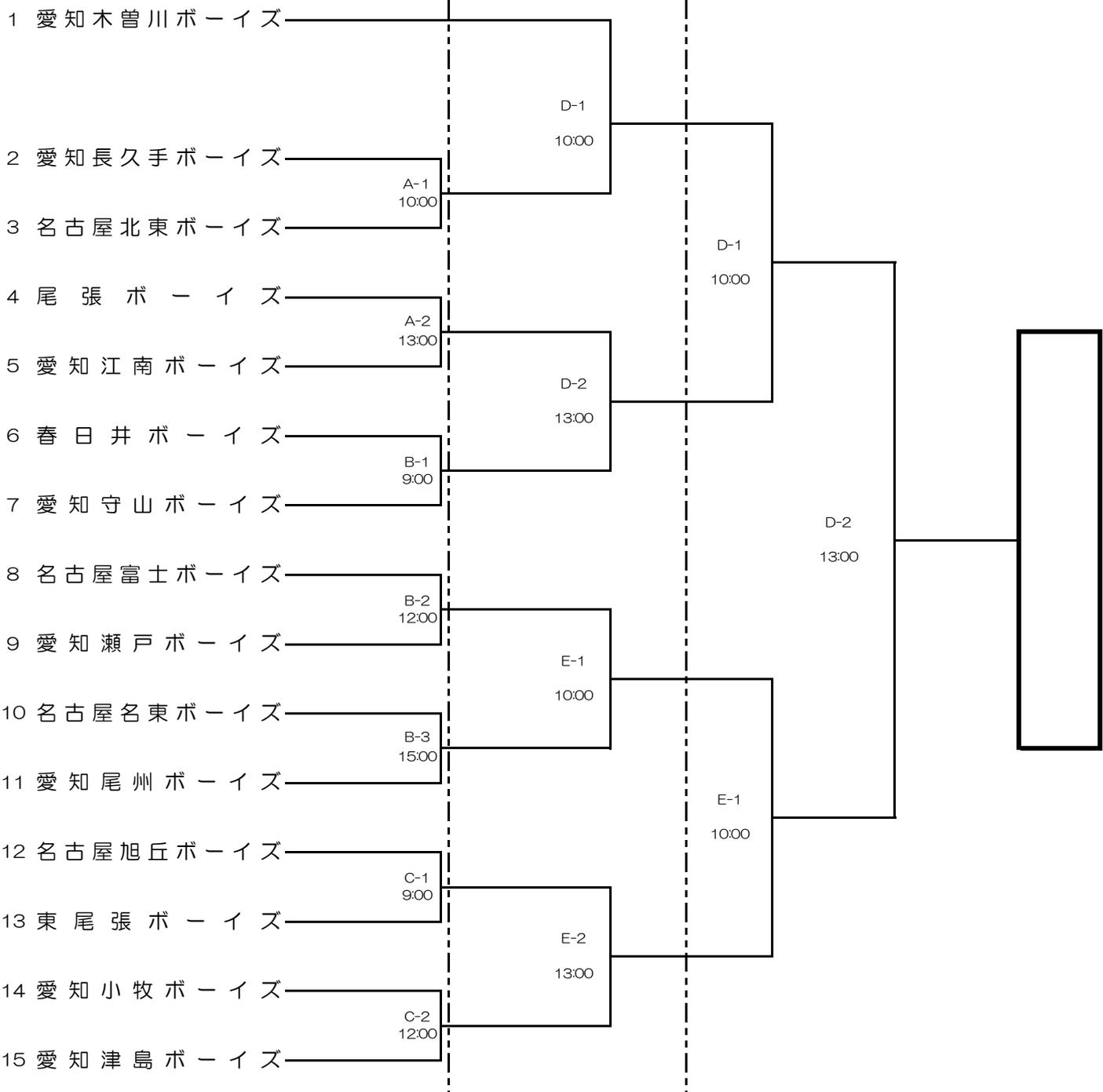
愛知木曾川ボーイズ

中学生の部
 支部

1日目

2日目

3日目



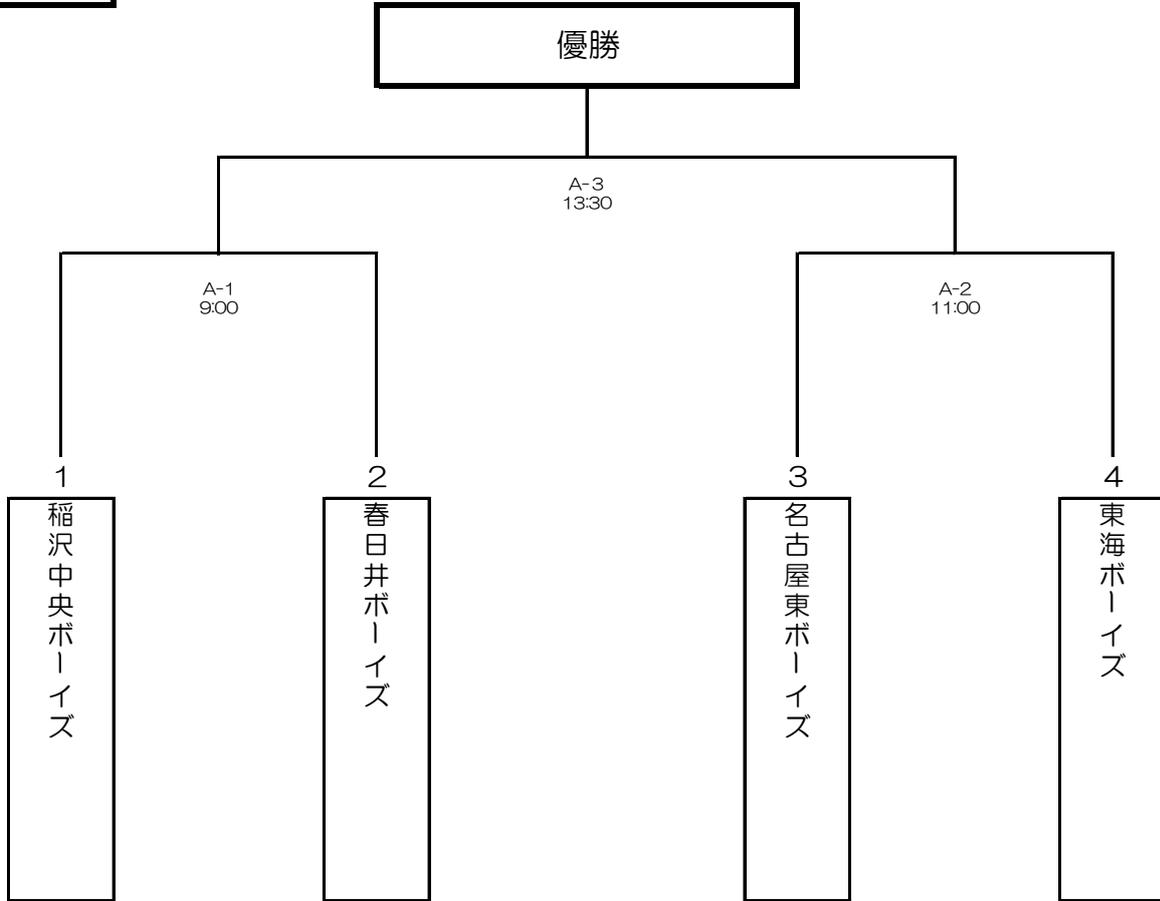
第 51 回 選手権大会 予選 ・ 第 20 回 SSK 旗争奪大会

1日目 2020年7月4日(土) A 球場 稲沢中央ボーイズ専用グラウンド 稲沢中央ボーイズ
開会式はなし

予備日 2020年7月11日(土) A 球場 稲沢中央ボーイズ専用グラウンド 稲沢中央ボーイズ

小学生の部

昨年優勝チーム：春日井ボーイズ



愛知木曾川ボーイズ

代表	大迫 英紀
監督	鈴木 俊雄
コーチ	森 裕幸
マネージャー	青木 新介
15	主将 伊藤 実成 3年
2	杉島 佑誠 3年
7	加藤 仙 3年
9	大坪 竜也 3年
10	若原 佑典 3年
11	栗本 怜 3年
17	山田 悠稀 3年
18	唐川 耀 3年
20	青木 大成 3年
27	加藤 宇宙 2年
30	河田 斗優馬 3年
33	越野 竣介 3年
41	山田 幹大 3年
45	山田 尚牙 2年
47	内田 愛斗 3年
52	森岡 幸太郎 3年
55	田中 柊希 3年
56	小野 主馬 3年
66	渡辺 裕陽 3年
90	稲葉 力 3年

愛知長久手ボーイズ

代表	長野 成人
監督	赤間 大輝
コーチ	柵木 清俊
マネージャー	藤森 将浩
62	主将 伊東 航 3年
7	藤森 光 3年
9	神谷 莉紘 2年
10	荘田 晃成 3年
12	岩崎 孝成 2年
14	本田 能光 2年
15	宮田 慎平 2年
18	池口 龍 2年
20	及部 滉貴 2年
21	小野 朗 3年
22	酒井 孝太 2年
23	柴田 理央 2年
24	中村 太一 2年
26	山内 悠矢 2年
27	奥蘭 和輝 3年
31	吉田 柊晴 2年
32	斎藤 滉太 3年
33	米花 慈 3年
34	堀田 竜丞 2年
41	井上 涼輔 2年
51	市橋 朋也 2年
55	細川 蒼太 2年
77	足立 悠真 3年
81	東 大智 2年
99	立浦 祥維 3年

名古屋北東ボーイズ

代表	林 日出夫
監督	牧田 勉
コーチ	富田 雄一
マネージャー	白馬 太郎
24	主将 藤井 郁也 3年
3	伊藤 誠 3年
4	水野 晶斗 3年
7	桐田大輔 2年
9	石丸 竜也 3年
12	横地 信太郎 2年
13	加藤 旺佑 2年
14	横川 大翔 3年
15	林田 政宗 2年
17	金井 駿之介 3年
18	中島 祐斗 3年
19	束野 希空 3年
20	中村 勇貴 3年
21	中村 大貴 3年
23	田中 陽人 2年
33	堀尾 寛陸 2年
45	岩田 海舞 2年
56	稲垣 圭人 3年
54	原田 雄造 3年
55	伊藤 春紀 2年
36	武居 暉心 2年

尾張ボーイズ

代表	高木 哲也
監督	小林 俊哉
コーチ	松本 茂樹
マネージャー	後藤 久司
29	主将 酒井 優月 3年
2	堂上 陸翔 3年
4	前田 龍太郎 3年
5	守屋 光ノ佑 3年
8	小笠原 和星 2年
9	杉山 拓空 2年
10	佐口 優心 3年
12	柴田 翔舞 3年
17	鈴木 唯人 3年
19	岩田 勝 3年
22	福原 朔弥 3年
24	米窪 海翔 2年
26	大野 想琉 3年
27	武田 昂樹 2年
28	河村 隼大 3年
30	永井 溢己 3年
37	福原 瑠弥 3年
41	遠藤 和真 3年
45	今井 太晟 3年
51	佐々木 陽太 3年
55	黒田 健裕 3年
56	宮川 直登 3年
57	福田 陸 2年
66	徳永 敬介 3年

33

愛知江南ボーイズ

代表	柴田 昭二
監督	森 猛
コーチ	臼井 直樹
マネージャー	小笠原 弘之
2	主将 小笠原 陸斗 3年
1	三浦 健伸 3年
3	進藤 大誠 3年
4	小泉 慶 3年
5	井上 雄貴 3年
6	森 永遠 3年
7	長谷川 友駿 3年
8	山下 虎汰 3年
9	酒井 昭輝 3年
10	村本 陵馬 3年
11	柴 翔太郎 3年
12	比嘉 将登 3年
13	伊藤 善哉 3年
14	草水 柊平 3年
15	近藤 隼世 3年

春日井ボーイズ

代表	窪園 三郎
監督	澤野 肇
コーチ	三浦 浩
マネージャー	小林 誠司
6	主将 伊佐治 大成 3年
1	高橋 翼 3年
2	吉永 蒼獅 3年
3	渡辺 維介 3年
4	犬飼 拓夢 3年
5	田口 隼 3年
7	松本 一希 3年
8	犬飼 歩夢 3年
9	豊永 候士朗 3年
10	大塚 真士 3年
11	田中 仁翔 3年
12	吉用 樹人 3年
13	河野 楓 3年
14	貴田 航平 3年
15	林 晃誠 3年
16	古橋 直樹 3年
17	可児 優太 3年
18	清時 陸郎 3年
19	杉原 煌大 3年
20	武藤 汰輝 3年
21	湯地 隆登 3年
22	庄司 湧哉 3年
23	小川 優誠 3年
24	熊谷 壮馬 3年
25	小笠原 蛍 3年

愛知守山ボーイズ

代表	牧野 義人
監督	水谷 元也
コーチ	小笠原 広紀
マネージャー	加藤 慶
99	主将 大西 遼多 3年
2	加藤 永太 3年
4	天野 陸翔 3年
5	岡本 大知 3年
7	村瀬 蒼空 3年
8	寺澤 海音 2年
20	川島 知奈 3年
22	仁科 拓真 3年
24	藤村 泰介 3年
29	加藤 颯人 3年
31	亀山 雄哉 3年
34	浅野 光希 3年
36	富士井 佑哉 2年
42	松宮 潤弥 3年
54	寺尾 友介 3年
59	南平 蒼真 3年
66	大友 悠聖 3年
68	桑田 剛心 2年

名古屋富士ボーイズ

代表	玉置 正樹
監督	青山 富弘
コーチ	川上 忠
マネージャー	河村 峰敏
53	主将 清水 新太 3年
3	斉藤 照英 3年
4	谷口 慧悟 3年
7	岡村 海音 3年
9	加藤 雅風 3年
13	逸見 瑠偉 3年
17	谷口 藍斗 3年
18	竹内 風海大 3年
21	服部 皇雅 3年
23	加藤 友規 3年
31	藤田 陽 3年
32	松尾 健吾 3年
33	藤城 裕也 3年
37	片山 晴仁 3年
39	渡邊 葵生 3年
43	河村 拓寛 3年
52	平川 和典 3年

愛知瀬戸ボーイズ

代表	大野 工太
監督	鈴木 正秀
コーチ	栗山 嘉孝
マネージャー	高橋 恭兵
10 主将	倉知 幸太郎 3年
1	佐藤 翔太 3年
2	白山 明日翔 3年
3	浅井 翔大 3年
4	塚原 蒼斗 3年
5	山本 翔空 3年
6	兼松 実杜 3年
7	伊藤 啓人 3年
8	呉竹 龍之介 3年
9	高橋 洸大 3年
11	戸田 海翔 3年
12	中川 翔太郎 3年
13	池田 奏明 3年
14	宇佐美 敦斗 2年
15	畠中 湧暉 2年
16	川村 有輝 2年
17	村井 陽生 2年
18	梶田 翔太 2年
19	政野 泰輝 2年
20	古澤 亮仁 2年
21	筒井 瑛太 2年
22	松山 蓮 2年

名古屋名東ボーイズ

代表	梅村 仁司
監督	竹村 和久
コーチ	岸田 幸三
マネージャー	永田 耕規
8 主将	山中 琉太 3年
1	井出 陸仁 3年
2	神田 穰太郎 3年
3	平木 真生 1年
4	酒井 龍馬 2年
5	林 蒼太郎 3年
6	村松 蒼馬 3年
7	山田 凜太郎 3年
10	竹島 優太 3年
14	相田 康輔 3年
17	杉原 貴太 2年
22	深谷 剣梧 2年
33	神田 敬仁郎 1年
51	住田 隼人 2年
55	福田 優介 1年

愛知尾州ボーイズ

代表	内藤 邦将
監督	藤川 正樹
コーチ	筏井 知良
マネージャー	小松 正義
3 主将	浅井 誠哉 3年
2	伊東 尚輝 2年
7	田頭 瑠生 3年
8	川上 沢磨 3年
9	小鹿 隼翔 3年
10	佐々木 空人 3年
11	伊藤 大悟 3年
17	馬場 海地 3年
19	岡部 凌大 3年
21	磯部 祐吉 3年
23	霜田 虎太郎 3年
24	鵜飼 涼太 3年
27	小島 雄飛 3年
34	林 里樹 2年
41	佐藤 樹 3年
48	藤井 将希 3年
52	青山 竜騎 3年
53	加納 朋季 2年
56	吉川 慧 3年
61	板野 煌太郎 2年
86	山本 顕匠 2年
90	福田 心穂 2年

名古屋旭丘ボーイズ

代表	澤中 渉
監督	虫賀 千修
コーチ	古川 哲
マネージャー	長尾 脩平
11 主将	道家 大亮 3年
1	星原 陽心 2年
2	赤尾 拓飛 3年
3	三品 俊太 2年
4	藤井 凜 2年
5	池山 充 3年
7	清水 琉平 3年
8	稲本 琉生 3年
9	細 泰真 2年
10	川口 高明 2年
14	福島 咲太 3年
16	山本 裕翔 2年
17	遠山 來毅 2年
20	小澤 卓幹 3年
21	三矢 大翔 2年
24	中町 太一 3年
25	辻村 太志 2年
28	伊藤 袖花 2年
29	丸山 大和 2年
31	水野 滉也 2年
33	原口 大地 2年
39	山内 珀人 2年
41	井上 快 2年
46	志賀 有晏 2年
55	八田 竜太郎 2年

東尾張ボーイズ

代表	杉原 基秀
監督	柴田 秀仁
コーチ	山下 浩一
マネージャー	大島 篤
1 主将	西田 蒼大 3年
2	横井 志琉 3年
3	加藤 寧隆 3年
4	羽場 拓人 3年
5	岩本 龍醒 3年
6	大沼 夢時 3年
7	前島 勇太 3年
8	水野 結音 3年
9	大島 柊汰 3年
10	平子 陸斗 3年
11	望月 大輝 3年
12	竹下 雄大 3年
13	篠木 陽太 3年
14	小林 空翔 3年
15	加藤 大雅 3年
18	藤野 響 3年
19	名倉 丈 3年
20	伊藤 大翔 3年
21	野村 大河 2年
36	伊藤 瑛流 2年
37	内島 獅王 2年
43	獵田 晟之介 2年

愛知小牧ボーイズ

代表	服部 誠
監督	近藤 信之
コーチ	水野 哲也
マネージャー	岩切 利仁
8 主将	山城 祐輔 3年
1	吉田 蛍人 3年
2	杉野 拳斗 3年
3	遠藤 琉生 3年
4	大洞 秀斗 3年
5	岩橋 啓汰 3年
6	田口 颯馬 3年
7	日置 莉都 3年
9	伊地知 基 3年
10	井戸田 拓真 3年
11	今村 拓斗 3年
12	宮地 慶伍 3年
13	田原 幹大 2年
14	馬場 陽太 2年
15	長谷川 智哉 2年
16	丹下 翔真 2年
17	堀田 翔太 2年
18	堀尾 映太 2年
19	相京 大輝 2年
20	美濃輪 裕矢 2年
21	紀平 悠 2年

愛知津島ボーイズ

代表	山岸 昌弘
監督	国森 由剛
コーチ	角田 憲一
マネージャー	池田 祐城
2 主将	石橋 琥太郎 2年
1	真野 雄太 2年
3	佐藤 勝治 2年
4	佐竹 壱晟 2年
5	福岡 宗志 2年
6	佐竹 優晟 2年
7	伊藤 大起 2年
8	岡田 梗太郎 2年
9	皆川 瑠唯 2年
10	藤田 凌梧 2年
11	石田 羅生 2年
12	大島 士征 2年
13	林 伶哉 2年
14	丹羽 秀太 1年
15	大橋 海音 1年
16	宮下 颯矢 1年
17	水谷 友亮 1年
18	佐藤 倍達 1年
19	野呂 将貴 1年
20	渡邊 陽斗 1年
21	犬飼 悠之介 1年
22	阪口 竜之介 1年
23	伊藤 好輝 1年
24	近藤 涼太 1年
25	山田 蒼矢 1年

稲沢中央ボーイズ

代表	林 透		
監督	長尾 実		
コーチ	伊藤 文博		
マネージャー	石田 侑靖		
4	主将	近澤 快飛	6年
1		和手 陵怯	5年
2		前田 泰志	4年
3		三澤 周平	6年
5		馬場 海弥	6年
6		平野 光樹	5年
8		浅野 流輝	5年
9		市橋 拓矢	6年
10		富倉 颯大	5年
12		蔭山 律輝	5年
14		木全 礼恩	5年
15		後藤 圭輝	5年
16		昌山 圭	4年
17		平野 登有	5年
18		大瀬良 蒼空	6年
21		松浦 大悟	5年
22		山田 恵大	6年
25		青山 瑞來	6年
26		宮野 瑛心	4年

春日井ボーイズ

代表	中島 一迪		
監督	縄田 秀樹		
コーチ	松原 知輝		
マネージャー	岩田 将宏		
6	主将	小川 巧	6年
2		池端 真叶	6年
3		石田 一慧	6年
4		糸魚川 輝	5年
5		岩田 悠汰	5年
7		竹内 進太	5年
8		浅野 桃夢	6年
9		青山 獅王	5年
10		吉川 颯汰	5年
11		磯金 海里	5年
12		安田 瑛太	5年
13		瀬瀬 星夢	4年

名古屋東ボーイズ

代表	中村 直人		
監督	長尾 文博		
コーチ	辻 啓人		
マネージャー	佐々木 敦司		
18	主将	小田 悠馬	6年
0		吉松 流	5年
1		後藤 大和	6年
2		佐々木 陽翔	6年
4		佐々木 琉斗	4年
5		渡部 匠	6年
6		水野 葵斗	4年
8		松田 光輝	4年
9		後藤 大我	6年
11		前田 将弥	6年
12		佐藤 有晟	6年
13		藤井 力斗	6年
17		伊藤 千佳	5年
21		武藤 湧真	6年
25		兒玉 阿久里	5年
51		佐藤 壮	6年

東海ボーイズ

代表	加藤 剛司		
監督	志賀 裕一		
コーチ	金井 慎司		
マネージャー	小塚 章広		
33	主将	津末 駿眺	6年
0		中島 駿龍	3年
1		中島 龍之介	5年
2		新井 伶央士	6年
5		安藤 駿汰	1年
8		榊原 峻平	4年
10		片田 千教	2年
11		片田 晶凡	4年
12		竹内 心道	6年
18		村田 悠真	6年
21		藤田 崇矢	5年
25		濱崎 翔太	6年
26		今井 柏太	3年
34		小塚 翔也	6年
99		手嶋 姫々	4年

エスエスケイ旗争奪東海大会優勝・準優勝チーム

第1回 (平成13年)	中学生の部 小学生の部	優勝 優勝	東海チャレンジャー 東海チャレンジャー	準優勝 準優勝	春日井ボーイズ 尾張ウイングス
第2回 (平成14年)	中学生の部 小学生の部	優勝 優勝	名古屋フレンズ 中京エンペラー	準優勝 準優勝	名古屋ファイターズ 東海チャレンジャー
第3回 (平成15年)	中学生の部 小学生の部	優勝 優勝	名古屋フレンズ 東海チャレンジャー	準優勝 準優勝	東名古屋スターズ 小牧中京ボーイズ
第4回 (平成16年)	中学生の部 小学生の部	優勝 優勝	東海チャレンジャー 中京エンペラー	準優勝 準優勝	名古屋フレンズ 尾張ウイングス
第5回 (平成17年)	中学生の部 小学生の部	優勝 優勝	春日井ボーイズ 尾張ウイングス	準優勝 準優勝	小牧中京ボーイズ 東海チャレンジャー
第6回 (平成18年)	中学生の部 小学生の部	優勝 優勝	名古屋フレンズ 中京エンペラー	準優勝 準優勝	愛知知多ボーイズ 名古屋ファイターズ
第7回 (平成19年)	中学生の部 小学生の部	優勝 優勝	刈谷セントラルボーイズ 尾張ウイングス	準優勝 準優勝	尾張ウイングス 東海チャレンジャー
第8回 (平成20年)	中学生の部 小学生の部	優勝 優勝	中京エンペラー 春日井ボーイズ	準優勝 準優勝	刈谷セントラルボーイズ 東海チャレンジャー
第9回 (平成21年)	中学生の部 小学生の部	優勝 優勝	春日井ボーイズ 東海チャレンジャーボーイズ	準優勝 準優勝	東海チャレンジャー 三好東郷ボーイズ
第10回 (平成22年)	中学生の部 小学生の部	優勝 優勝	愛知知多ボーイズ 東海チャレンジャーボーイズ	準優勝 準優勝	中京エンペラーボーイズ 愛知江南ボーイズ
第11回 (平成23年)	中学生の部 小学生の部	優勝 優勝	愛知知多ボーイズ 東海チャレンジャーボーイズ	準優勝 準優勝	東海チャレンジャーボーイズ 中京エンペラーボーイズ
第12回 (平成24年)	中学生の部 小学生の部	優勝 優勝	愛知瀬戸ボーイズ 名古屋TLCボーイズ	準優勝 準優勝	尾張ウイングボーイズ 東海チャレンジャーボーイズ
第13回 (平成25年)	中学生の部 小学生の部	優勝 優勝	愛知尾州ボーイズ 尾張稲沢ボーイズ	準優勝 準優勝	名古屋富士ボーイズ 名古屋東ボーイズ
第14回 (平成26年)	中学生の部 小学生の部	優勝 優勝	愛知尾州ボーイズ 東海ボーイズ	準優勝 準優勝	東海ボーイズ 中京ボーイズ
第15回 (平成27年)	中学生の部 小学生の部	優勝 優勝	愛知尾州ボーイズ 春日井ボーイズ	準優勝 準優勝	東海ボーイズ 東海ボーイズ
第16回 (平成28年)	中学生の部 小学生の部	優勝 優勝	東海ボーイズ 東海ボーイズ	準優勝 準優勝	春日井ボーイズ 春日井ボーイズ
第17回 (平成29年)	中学生の部 小学生の部	優勝 優勝	愛知瀬戸ボーイズ 東海ボーイズ	準優勝 準優勝	愛知知多ボーイズ 稲沢中央ボーイズ
第18回 (平成30年)	中学生の部 小学生の部	優勝 優勝	東海中央ボーイズ 東海ボーイズ	準優勝 準優勝	愛知小牧ボーイズ 春日井ボーイズ
第19回 (令和元年)	中学生の部 小学生の部	優勝 優勝	名古屋富士ボーイズ 春日井ボーイズ	準優勝 準優勝	愛知小牧ボーイズ 稲沢中央ボーイズ
第20回 (令和2年)	中学生の部 小学生の部	優勝 優勝		準優勝 準優勝	

